

ボランティア・NPO活動センター通信

No.40 発行日：2021年4月

龍谷大学教職員の皆さん向けに、ボランティア・NPO活動センターの活動をご紹介する情報紙です。教職員の皆さんにボランティア・NPO活動センターの活動を知っていただきたい！ ボランティア活動に参加していただきたい！ そんな思いを込めて作成しています。

センター20周年記念事業『ボランティアで未来を拓く』 オンライン開催、約260名の方にご参加いただきました。

龍谷大学ボランティア・NPO活動センターは、2001年の発足以来、多くの方に支えられて設立20年を迎えることができました。この間、当センターの活動に対し、多くの皆さまにご指導とご支援を賜りましたこと、心から感謝を申しあげます。この設立20年に際しまして記念事業を2月11日(木)にオンラインにて開催致しました。当日は約260名の方にご参加いただきました。

○プログラムⅠ「なぜ、龍大ボラセンは20年続いたのか？」 簡井のり子(ボランティア・NPO活動センター長)

センター設立からの軌跡について動画などを交えて報告しました。

○プログラムⅡ「龍大ボラセンは何を生み出したのか？」

学生スタッフ経験者(卒業生/在学生)を対象としたアンケートの分析・報告、続いて学生スタッフOB・OG4名が登場し、当時の経験が今にどのように作用しているかについてディスカッションを行いました。その後このアンケートを監修いただいた工藤保則センター委員(社会学部教授)に総括していただきました。

○交流プログラム(学生スタッフ企画)

OB・OGや大学関係者向けに13のトークテーマを設け、積極的に交流しました。



トークルーム運営の学生スタッフと参加者のみなさん@交流プログラム

○プログラムⅢ「つなごう未来へのバトン おくろう未来へのプレゼント」(学生スタッフ企画)

瀬田パートの企画「おくりもの」では、理想のボラセンと理想の学生スタッフについてのプレゼン。深草パートの「未来へのバトン～ボラセンでつながれていくもの～」では、長年引き継がれている学生企画の紹介やコロナ禍での工夫などを盛り込んだ動画をメインに展開しました。

○プログラムⅣ 対談

安田菜津紀氏(フォトジャーナリスト)×入澤 崇 学長

安田さんには、東日本大震災の「奇跡の一本松」に関するお話や、コロナ禍だからこその側面、「痛みの共感」「リシンク＝立ち止まって考える勇気」など、ボランティアや社会課題と向き合うことに繋がる様々な視点からお話していただきました。



入澤学長とフォトジャーナリストの安田菜津紀さん@プログラムⅣ

ご視聴いただいた皆様からのメッセージ

・コロナ禍の大変な中、先週の東日本大震災10年のイベントに続き、このセンター創設20周年の事業にも取り組まれたこと、あっぱれです。お疲れさまでした。両イベントとも、とても素晴らしいものでした。しかもともに学生の皆さんの参画によって練られ、進行されたことにも感銘を受けました。両センターのコーディネーターの皆さんや教職員の皆さんの支えも含めて、素晴らしい取り組みでした。今後も、この姿勢を継続・発展していただくことを期待しています。

・20周年、おめでとうございます。記念すべき年に未曾有の出来事が起こり大変だったとは思いますが、1～4年生までが協力して1つのものを創り上げている作品を見てこれからも元気に続いていくのだろうと感じました。ボラセンに所属していたことを誇らしく思います。今後もこのような状況が続く大変かとは思いますが、頑張ってください。

東日本大震災復興支援フォーラム 発災から10年 —あらためて震災を振り返り、その経験を「知恵」とする—

2021年で発災から10年が経過した東日本大震災。この震災を振り返りその経験を「知恵」とするべく2月6日(土)に東日本大震災復興支援フォーラムを開催致しました。オンライン開催となりましたが、約200名の方の参加がありました。

○第1部:「東日本大震災をふりかえる」

学生スタッフよりこれまでに本学が取り組んだ東日本大震災復興支援活動や自身が参加して感じた事などを報告しました。その後、千葉県の特別支援学校で教員を務める白土奈央さん(法学部卒業生/学生スタッフOG)から、在学中に参加した復興支援ボランティアの体験と、教員になってからの経験を通して感じていることなどをお話いただきました。

休憩の間には、学生スタッフ動画チームが協力して作成した動画を放映しました。過去の復興支援活動の数々の写真や、学生スタッフの想いを繋げたもの、NHK復興支援ソング「花は咲く」を学生スタッフで合唱した様子などを盛り込んだ内容でした。

○第2部:基調講演「3.11を学びに変える」 佐藤 敏郎氏(小さな命の意味を考える会 代表)

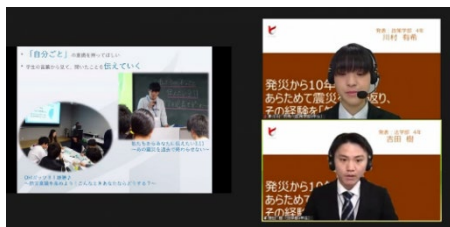
本学の復興支援ボランティアでもご協力いただいている佐藤敏郎さんより、元教員であり津波で次女を亡くされた実体験に基づいたお話を伺いました。「ハッピーエンドを想定しきる」「災間」「希望の防災」など、たくさんの印象的な言葉と深く心に残るお話を聴かせていただきました。

○第3部:「これからの災害とどう向き合うのか」 長谷部 治氏(神戸市兵庫区社会福祉協議会)

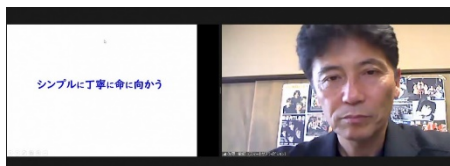
筒井 のり子(ボランティア・NPO 活動センター長)

学生時代の阪神淡路大震災でのボランティアをきっかけに現職でも災害支援に関わっておられる長谷部治さんより、お話いただきました。講演後の筒井のり子センター長とのやりとりでは、「卒業生が社会に出てからのボランティア促進につながる仕組みづくりにも取り組んで欲しい」といった大学ボランティアセンターへの期待を込めたメッセージをいただきました。

このフォーラムの様子は、当日夕方と夜のNHKニュースでも取り上げられ、関西一円に放映されました。実施にご協力いただいた皆様、視聴いただいた皆様、本当にありがとうございました。参加者から次のようなご感想をいただきました。



【第1部】学生スタッフからの報告



【第2部】佐藤敏郎さん(Smart Supply Vision 理事 兼 特別講師)



【第3部】長谷部治さん(神戸市兵庫区社協)と 筒井のり子センター長



【第1部への感想】

- ・活動を振り返る動画や、後輩たちの報告を聞き、自分が学生だったときのことを懐かしく思い出しました。自分たちが「伝えたい」と思ってきた東北への思いをさらに大きくして、またその次の後輩たちへ繋ごうとしてくれていることが伝わり、とてもうれしくなりました。
- ・ボランティアに参加された学生さんたちがその後どう歩んでおられるか、学生時代にボランティアをすることの意味などが感じられました。スライド作りなども大変だったことと思います。

【第2部への感想】

- ・胸が熱くなり、心に響く講演でした。助かるはずの命を、今後は助けられるよう、自分事として考えていきたいです。ありがとうございました。
- ・貴重なお話を聞くことができ、オンライン上でもこんなにも伝わってくるものがあると気付くことが出来ました。
- ・自分に抜け落ちていたもの、今後災害が起こることから目をそらしてきたことなど、改めて考える良い機会となりました。

【第3部への感想】

- ・災害ボランティアは浸透してきたけれども、専門職として改めて今後のあり方について考えなければならない時期に来ているんだと痛感しました。
- ・仕事・家庭以外にも社会や地域活動での役割を持つ大切さについて考え、今後自分に何ができるのかどのように向き合うべきなのかを考える必要があると感じました。
- ・大学を今年で卒業するのですが、卒業してボランティアを終わりにしてはいけなと感じました。ボランティアを続けられる、社会人になりたいです。

2020 年度の事業報告 (2021 年 1 月～2021 年 3 月)

ボランティア・NPO 活動センターでは、龍谷大学の学生・教職員の皆さんに向けて、ボランティアの一步を踏み出すための様々なプログラムや、学生スタッフによるボランティア企画などを提供しています。2021 年 3 月までに、下のような事業を行いました。詳しくはホームページ (<https://www.ryukoku.ac.jp/npo/>) をご覧ください。

海外体験学習プログラム・スタディツアーをオンラインにて開催しました。

例年実施していた海外体験学習プログラム。2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で現地に行く事が出来ないため、オンラインを活用したスタディツアーを開催致しました。現地で活動している団体にご協力いただき、3 月 9 日(火)にはフィリピン、15 日(月)にはタイとオンラインで繋いで現地の様子や生の声を聞きました。

① 3 月 9 日(火) フィリピン

協力団体: 認定NPO法人アクセス

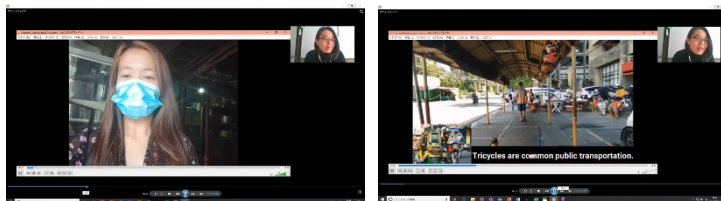
ー共生社会をめざす地球市民の会

テーマ: スラムに暮らす若者の声を聴く

内容: フィリピンアクセスの現地法人から中継し、

都市スラム「トンド地区」に暮らす若者に
ライフストーリーを語っていただきました。

また、貧困を緩和するフェアトレード事業
についてアクセス事務局長 野田沙良氏
から、解説いただきました。



フィリピンオンラインスタディツアーの様子



タイオンラインスタディツアーの様子



② 3 月 15 日(月) タイ

協力団体: ツナミクラフト

テーマ: 農村コミュニティリーダーの声を聴く

内容: タイに住む日本人通訳の方から、タイ
の文化や宗教について紹介いただきました。
ツナミクラフトスタディツアーの受け入れ先で
あるタレーノーク村の様子を中継、コミュニ
ティベースドツーリズムを実践されている旅行
会社スタッフのインタビューをお聞きました。

国内体験学習プログラムを近江八幡で開催

今回は感染拡大予防のため、日帰りのフィールドワークとオンラインでの事後学習会の2日間の日程で実施しました。

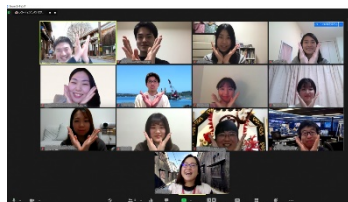
テーマ: 近江八幡の左義長祭

～コロナ禍において伝統文化の継承について考える～

3 月 3 日(水) フィールドワーク(旧伴家住宅見学など)

3 月 12 日(金) オンライン事後学習会

近江八幡市内で左義長への熱い思いや、新型コロナウイルスの影響などについてのお話を伺うことができました。事後学習会ではグループワークを中心に伝統文化についてディスカッションを行いました。



今はいけない福島とオンラインでつなぐ

例年、当センターでは福島スタディツアーを実施しております。今回はこのコロナ禍で実際に福島に行けなくても、なんとか福島とつながる方法はないか？と考えて企画したワークショップです。3 月 5 日(金)に対面形式で実施致しました。毎年お世話になっている南三相馬市の青田さんとはオンラインでつなぎ、お話を聞かせていただきました。

これまでのスタディツアーの概要の紹介や、このスタディツアーへの参加に参加した事がきっかけで、卒業後福島研究を始めた坂本さんのお話を聞きました。最後にグループに分かれてディスカッションを行い、理解を深めました。



2021 年度の事業予定

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2021年度の活動に関して変更になる場合がございます。活動詳細についてはセンター公式twitter、facebook、HPをご覧ください。



Facebook



Twitter



ホームページ

ボランティア入門講座【参加者募集中】

講義とボランティア体験を組み合わせた『ボランティア入門講座』を今年も下記内容にて実施予定です。

■オンライン講座

2021 年 5 月 26 日(水) 17:30～19:00

※参加できない人にはオンデマンド配信

■ボランティア体験

8 月以降で調整中

■ふりかえり

ボランティア体験の後の日程で調整中



里山整備体験

**ボランティア入門講座
オンライン講座&ボランティア体験**

ボランティア、始めてみませんか？
6月にオンライン講座、8月にボランティア体験を実施します。

「大学生でボランティア活動を始めようかな」「ボランティアに興味はあるけど、どうしたらいいの?」と悩んでいる、そんなあなたにおすすめの『ボランティア入門講座』。初めてのことでも多く知らない『ボランティアの基礎』や『考え方』を学び、実際にボランティアを体験します。ぜひ、一緒にボランティアを始めてみませんか?新しい世界に出会えるかもしれません。

オンライン講座
2021年5月26日(水) 17:30～19:00 ※参加できない人にはオンデマンド配信

ボランティア体験
2021年8月(土)～8月12日(日) / 8月13日(金)～8月15日(日) で調整中

ふりかえり
ボランティア体験の後の日程で調整中 ※調整中の日程は決定次第、HPに掲載します。

申し込み・申し込みについて
申し込みは、申し込みフォームから、希望の申し込みをしてください。申し込みは、申し込みフォームから、申し込みをすることができます。申し込みは、申し込みフォームから、申し込みをすることができます。

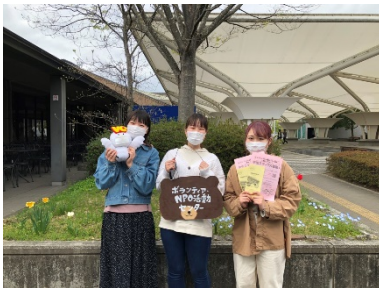
申し込みフォーム
申し込みフォーム
申し込みフォーム

※調整中の日程は決定次第、HPに掲載します。

※本年も感染症対策を行いながら、屋外での体験や人数を絞った形での運営を行います。

新入生新歓活動【絶賛実施中】

龍大生にボランティアを広めるための活動をしている学生スタッフを毎年新歓期間中に募集しています。例年新入生を中心に行っていましたが、今年は2年生も多く関心をもって積極的に相談に来てくれました。深草・瀬田それぞれのキャンパスで新歓期間中のブース出展やチラシ配り、またガイダンス等を実施しております。学生スタッフ自らが考え、1人でも多くの学生に興味をもってもらえるよう日々奮闘しております！



【ボランティア・NPO 活動センター開室時間】 平日 9:00～17:00(火曜は 10:45～17:00)



Ryukoku University

Volunteer NPO Center News Letter

No.40

発行責任者：龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 筒井のり子
ホームページ：<https://www.ryukoku.ac.jp/npo/>、E-mail：ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
SNS：Facebook：龍谷大学ボランティア・npo 活動センター、Twitter：@ryuvnc

深草キャンパス：〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 瀬田キャンパス：〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷 1-5
成就館 1F 青志館(生協食堂)横

内線 1490、Tel:075-645-2047、Fax:075-645-2064

内線 7252、Tel:077-544-7252、Fax:077-544-7261